

## 子ども讃美歌に関する一考察

—楽曲分析と指導への提言—

### A Study of Hymns for Children : How to teach Children to sing them

仲松 あかり  
Akari Nakamatsu

#### 要約

讃美は主のみ名をほめたたえみ栄えを表し、主に神様を礼拝する時に用いられる。また讃美は、聖書の事実の意味や普遍的な真理の素晴らしさを伝える重要なものでもあり、人生の最初の集団生活となる保育園や幼稚園、教会学校等の場で讃美歌にふれることは、子ども達の心の成長やその後の人生に影響を与えると考えられる。

沖縄キリスト教短期大学保育科では、音楽Ⅰと音楽Ⅱの科目において、讃美歌の必修課題曲として「だれがつくったの」と、「おほしがひかる」の2曲が指定されている。本論文では、代表的な子ども讃美歌について、どのような傾向や特徴があるのか歌詞や音楽の観点から検証した上で、これら2曲の楽曲分析を通して曲への理解を深めると共に、それらをいかに実際の指導に活かすことができるかを考察する。分析の結果、「だれがつくったの」と「おほしがひかる」は歌詞の面では共に、聖書の箇所やストーリーが易しい言葉で、子ども達が興味を持ち想像を膨らませられる擬音語と共に書かれている一方で、音楽面としては前者は非常に取り組み易いものであり、後者は音楽の様々な変化から喜びを表現することができるものであることが確認された。

子ども讃美歌を通して、讃美が神様から私達に与えられたものであることへの感謝を持って、子ども達や学生達と共に喜んで神様を讃美し続けることで、平和な世界を願う心を養っていくことが出来ればと願う。

#### I. はじめに

聖書の『コロサイの信徒への手紙』3章16節～17節に、次のような言葉がある。

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。<sup>(注1)</sup>

讃美（以下、本論文では「讃」に統一して表記する）は主のみ名をほめたたえみ栄えを表し、主に神様を礼拝する時に用いられる。また、讃美は聖書の事実の意味や普遍的な真理の素晴らしさを伝える重要なものでもあり、自分の信仰を他の人々に証しすることを助ける手段ともなる。現在多くの讃美歌が歌われているが、その中で子ども向けに作られたものを、一般的に子ども讃美歌と呼んでいる。これらを作詞、作曲したり、また出版したり、更に指導に使用する大人たちに共通する願いとして、讃美歌と一緒に歌う仲間の輪が広がって、平和な世界につながるよう、すなわち教会と共にある、学校教育の発展を願う気持ちが根本にあると言えるだろう。

う。更に、人生の最初の集団生活となる保育園や幼稚園、教会学校等の場で讃美歌にふれることで、子ども達の心の成長やその後の人生に影響を与えられられる。

沖縄キリスト教短期大学保育科では、音楽Ⅰと音楽Ⅱの科目において、讃美歌の必修課題曲として「だれがつくったの」と、「おほしがひかる」が指定されている(資料1・2参照)。

【資料1】音楽I

授業の概要	幼児の音楽的感性を育てるために、保育者として必要な音楽の基礎技能を修得する。ピアノ奏法と楽典やソルフェージュなど基礎的な学習と連動して、歌唱とピアノ伴奏法の向上をはかる。授業形態は、一斉指導と個別指導を導入し、『ピアノ教則本』では運指法、読譜等の初歩的なスキルを獲得しながら、簡単な幼児曲やマーチが弾けるようにする。また、「音楽Ⅱ」に継続して学習できるように、基本的な音楽理論の理解とピアノ奏法の習熟を目指す(授業は予習型)。 1. 課題 (1) 楽典 ①音域 ②音程 ③音階 ④調と調号 ⑤和音 (2) ピアノ課題曲 ①基礎 教則本『大学ピアノ教本』No.65程度 必修課題曲 No.1、3、4、5、9、11、13、17、21、24、25、27、30、32、33、37、40、43、45、49、51、53、56、60、63、65、他任意の曲 ②幼児曲 必修課題曲 (とんぼのめがね・思い出のアルバム) ③マーチ 必修課題曲 (かけあしマーチ・手をたたきましょう・ピーマーチ) ④讃美歌 必修課題曲 (だれがつくったの) ⑤任意の曲
-------	---

【資料2】音楽II

授業の概要	「音楽Ⅰ」の基礎的な学習を踏まえ、幼児教育現場で活用度の高い幼児曲やマーチ曲等を中心に学習する。『大学ピアノ教本』の学習は、読譜力やピアノ奏法の技術がさらに高められるようにする。幼児曲、マーチ曲の学習は幼稚園、保育所における生活の歌、季節や行事の歌、遊び歌など、保育現場で役立つ幼児曲の弾き歌いが数多く修得出来るようにする。 授業形態は、習熟度に応じ個別指導を中心に行う。予習型(自己学習)とする。 1. 課題 (1) 楽典 ①移調譜 ②移調奏 ③和音 ④音階 ⑤調と調号 ⑥その他 (2) ピアノ課題曲 ①基礎 教則本『大学ピアノ教本』No.66~94のうち11曲程度 No.66、67、68、70、71、74、75、79、81、93、94、他 任意 ②幼児曲 必修課題曲(おはようのうた・おかえりのうた・たんじょう日・たなばたさま・はをみがましょ) ③マーチ曲 必修課題曲(おお牧場はみどり・ブルーセス・マーチ) ④讃美歌 必修課題曲(お星がひかる) ⑤任意曲
-------	--

本論文では、現在出版されている子どものための讃美歌について傾向や特徴等を考察し、その中の必修課題曲2曲の分析を行い、より良い指導に向けての提言というかたちで、子どもたちにどのように讃美歌を教えるべきか、筆者の考えを述べていきたいと考える。

II. 代表的な子ども讃美歌集

ここではまず、現在、広く歌われている子どものための讃美歌集を5冊取り上げ、「だれがつくったの」のテーマである天地創造と、「おほしがひかる」のテーマであるクリスマスが、それぞれの歌集でどのように取り上げられているか表に整理してみたい。

① 『こどもさんびか1』日本基督教団出版局(1985年)

タイトル	作詞・作曲(訳詞・編曲等)	場面指定等	調	拍子	小節数	番
18 そらには てんしの	J.Cawood原詞・L.Mason作曲 (今井義子訳詞)	クリスマス	イ長調	4分の3拍子	8	3
19 おとなしくねむる イェスよ	富岡正男作詞・オーストリアカロル (富岡正男編曲)	クリスマス	変ホ長調	4分の4拍子	12	3
20 うまやの イェスは	黒田四郎作詞・作曲 (鳥居忠五郎伴奏譜)	クリスマス	ハ長調	4分の2拍子	8	4
21 とおくの ひがしから	鳥居忠五郎作詞・作曲	クリスマス	ニ短調	4分の4拍子	21	2

タイトル	作詞・作曲（訳詞・編曲等）	場面指定等	調	拍子	小節数	番
22 おほしが ひかる	由木康作詞・ドイツ民謡 (小泉功編曲)	クリスマス	へ長調	4分の 3拍子	25	3
23 そらに ひびくかねが	大和田建樹 原詞から改作・J.T.Cook作曲 (小泉功編曲)	クリスマス	へ長調	4分の 2拍子	24	2
24 うれしい うれしい (斉唱)	岡本敏明作詞・作曲	クリスマス	へ長調	4分の 2拍子	29	3
25 みつかい くだる (斉唱または二部合唱)	花房泉一作詞・フランスカール (松田孝一編曲)	クリスマス	へ長調	4分の 4拍子	24	3
26 いざ うたえ	Sicilian Carol原詞・Sicilian Melody (中山昌樹訳詞)	クリスマス	ニ長調	2分の 2拍子	17	3
27 きよし このよる	J.Mohr原詞・F.Gruber作曲 (由木康訳詞)	クリスマス	変ロ 長調	8分の 6拍子	12	3
28 もろびと こぞりて	P.Doddridge原詞・G.F.Händel原曲 (L.Mason編曲)	クリスマス	ニ長調	4分の 2拍子	21	3

② 『こどもさんびか2』日本基督教団出版局（1994年）

タイトル	作詞・作曲（訳詞・編曲等）	場面指定等	調	拍子	小節数	番
109 ふねがきます	佐久間彪詞・曲 (新垣壬敏編曲)	アドベント	イ長調	4分の 3拍子	20	3
110 かみのひとりご	花房泉一詞・Oscar Ahnfelt曲 (二俣松四郎伴奏譜)	クリスマス	ニ長調	4分の 2拍子	8	3
111 とてもさむい	小塩節詞・ポーランド・カール (久世望伴奏譜)	クリスマス	ニ長調	4分の 2拍子	15	3

③ 『グローイング ソング ふくいんこどもさんびか2』日本CEF（1998年）

タイトル	作詞・作曲（訳詞・編曲等）	場面指定等	調	拍子	小節数	番
6 はじめに神が	土井康司作詞・作曲	創造（創世 記1章1節）	イ長調	4分の 4拍子	33	1
7 だれがつくったの	作者不詳	創造	ハ長調	4分の 4拍子	8	4
8 神さまはぼくを つくられました (英語バージョンあり)	1節Violet Whittaker作詞・作曲 2 節Betty Russell作詞	創造	へ長調	4分の 4拍子	13	2
9 きみはとくべつ (英語バージョンあり)	Cynthia L.McClurg作詞・作曲	創造	ニ長調	4分の 4拍子	16	2
45 うれしいクリスマス	日本CEF作詞 Cynthia L.McClurg作曲	クリスマス	ハ長調	4分の 4拍子	16	2
46 なにをささげよう	Christina G.Rossetti作詞デ ンマーク民謡	クリスマス	変ホ 長調	4分の 4拍子	8	2

④ 『ふくいんこどもさんびか』日本児童福音伝道協会（1980年）

タイトル	作詞・作曲（訳詞・編曲等）	場面指定等	調	拍子	小節数	番
9 かいばのおけに	MARTIN LUTHER作詞・作曲 (山口昇他訳)	クリスマス	へ長調	4分の 3拍子	16	3

タイトル	作詞・作曲 (訳詞・編曲等)	場面指定等	調	拍子	小節数	番
62 おほしがひかる びかびか	KŌ YŪKI作詞・German Folk Song (Arr.Kō Koizumi)	クリスマス	へ長調	4分の 3拍子	28	3

⑤ 『こどもさんびか 改訂版』 日本キリスト教団出版局 (2002年)

タイトル	作詞・作曲 (訳詞・編曲等)	場面指定等	調	拍子	小節数	番
112 かみさまが つくられた	畑中隆男詞・飯靖子曲 (飯靖子編曲)	創造・ いのち	へ長調	4分の 4拍子	12	3
113 こすずめも、 くじらも	Jaroslav J.Vajda詞・Carl F.Schalk曲	創造・ いのち	ハ長調	4分の 3拍子	20	6
63 ふねがきます	佐久間彪詞・曲	待降・アド ヴェント	イ長調	4分の 3拍子	20	3
64 きたりたまえわ れらのしゅよ	Jacques Candeau詞・スイス民謡 (飯靖子編曲)	待降・アド ヴェント	ニ短調	4分の 2拍子	28	3
65 しゅをまちのぞむ アドヴェント	Maria Ferschl詞・Heinrich Rohr曲 (飯靖子編曲)	待降・アド ヴェント	へ長調	4分の 3拍子	31	4
66 おとまりください	柳多恵子詞・曲 (高浪晋一編曲)	降誕・クリ スマス	ニ長調	4分の 3拍子	16	2
67 ひつじかいむれを	Nahum Tate詞・The Whole Booke of Psalms曲 (高浪晋一編曲)	降誕・クリ スマス	へ長調	4分の 4拍子	8	6
68 かいばおけに ねむる	Michael Perry詞・曲 (飯靖子編曲)	降誕・クリ スマス	ハ長調	4分の 4拍子	22	4
69 かいばおけに すやすやと	詞 不詳・William J.Kirkpatrick曲 (飯靖子編曲)	降誕・クリ スマス	へ長調	4分の 3拍子	20	3
70 いざうたえ、 いざいわえ	Johannes D.falk,Heinrich Holzschuher 詞シチ リア民謡	降誕・クリ スマス	ニ長調	2分の 2拍子	16	3
71 ことりもとびさる ふゆのさなか	Jean de Brébeuf詞・フランス民謡 (高浪晋一編曲)	降誕・クリ スマス	ト短調	2分の 2拍子	18	4
72 まきびとひつじを	詞・曲 イギリス・キャロル	降誕・クリ スマス	ハ長調	4分の 3拍子	24	5
73 あらののはてに	詞・曲 フランス・キャロル	降誕・クリ スマス	へ長調	4分の 4拍子	21	4
74 きよしこのよる	Josef Mohr詞・Franz Gruber曲	降誕・クリ スマス	変ロ 長調	8分の 6拍子	12	3
75 きけ、 てんしのうた	Charles Wesley詞・ Felix Mendelssohn曲	降誕・クリ スマス	へ長調	4分の 4拍子	20	3
76 もろびとこぞりて	Philip Doddridge詞・ Georg F.Händel	降誕・クリ スマス	ニ長調	4分の 2拍子	19	4
77 おほしがひかる	由木康詞・ドイツ民謡 (高浪晋一編曲)	降誕・クリ スマス	へ長調	4分の 3拍子	25	3
78 とおくの ひがしから	鳥居忠五郎詞・曲 (高浪晋一編曲)	降誕・クリ スマス	ニ短調	4分の 4拍子	28	2

以上の表からわかることは、①や②には天地創造をテーマとする歌が含まれていないように、テーマについて天地創造に分類されているわけではなくとも、天地創造をイメージできる内容の曲もあるが、圧倒的にクリスマス (アドベント含む) の曲が多いのが一目瞭然である。イエ

スの誕生が聖書の中で最も重要なものの一つであることや、クリスチャンでない人にも聞き馴染みのある内容で扱いやすいといった理由が挙げられる。一般的に大人の礼拝で歌われる讃美歌の中から選ばれた曲もあり、それらはクリスマスに必ずと言って良いほど街中で聞こえてくる曲である。

作詞・作曲においては日本人や外国人様々であるが、様々な国の民謡やカロールを元とした曲があったり、歴史上の大作曲家といわれる作曲家の曲があることも興味深い。

調については、40曲中36曲が長調で、残りの4曲のみが短調である。調号がないものから3つまでの調で作曲されている。

拍子は4拍子系が多くみられるが、40曲中14曲は3拍子系がある。

小節数と歌詞の番は、最も長いもので33小節だが1番のみ、最も短いものは8小節であるが6番まである。

その他に、「うれしそうに」等の指定やテンポの目安が表記されているものや、前奏・後奏のある曲とない曲、曲の最後にアーメンがつく曲とつかない曲等様々である。伴奏についても、比較的弾きやすい単純な伴奏から、ある程度の技術を必要とするもの、メロディーとコードネームのみの曲もある。

### Ⅲ. 楽曲分析

ここでは「だれがつくったの」と、「おほしがひかる」について、主に歌詞と音楽の観点から楽曲分析を行う。なお、譜例は沖縄キリスト教短期大学保育科の授業で使用している楽譜と同様の、『グローイング ソング ふくいんこどもさんびか2』（日本CEF、1998年）と、『こどもさんびか1』（日本基督教団出版局、1985年）を使用し、和音分析と和音記号の表記は筆者が行った。

【楽譜1】 作者不詳「だれがつくったの」 ハ長調 4分の4拍子 8小節 4番

最低音一点ハ音—最高音二点ハ音

創造  
7  
作者不詳

だれがつくったの

1. だれが つくったの	ひらひらちようちよ	ひらひらちようちよ	ひらひらちようちよ
2. だれが つくったの	のにさくは な	のにさくは な	のにさくは な
3. だれが つくったの	すいすいさかな	すいすいさかな	すいすいさかな
4. だれが つくったの	あなたとわたし	あなたとわたし	あなたとわたし

  

だれが つくったの	ひらひらちようちよ	てんのかみさまよ
だれが つくったの	のにさくは な	てんのかみさまよ
だれが つくったの	すいすいさかな	てんのかみさまよ
だれが つくったの	あなたとわたし	てんのかみさまよ



この曲はドイツ民謡で、ドイツでは非常に有名な民謡だと言われており、オペラの中の楽曲にも使われているメロディーである。

まず歌詞の観点からは、該当する聖書の箇所は1番のみで、3番は1番と2番のまとめとなっている。

1番については、マタイによる福音書2章1～2節「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので拝みに来たのです。」<sup>(注6)</sup>

2番については、聖書のなかに、占星術の学者たちがらくだに乗ってイエスを拝みに行ったと記されている箇所はない。しかしながら砂漠における移動手段はらくだだと、一般的に理解されているため、このような歌詞が作られたものと推察される。

3番については、1番と2番の内容をまとめるもので、星の光を「ぴかぴか」、らくだが通る様子を「かぼかぼ」と擬音語で表しており、子ども達の想像を助けると共に興味をひく部分でもある。

音楽の観点では、フラット一つのへ長調で4分の3拍子、主要三和音の中のIV度を除くI度とV度と、V7度のみが使われている。前奏と後奏付きの25小節で3番までである。メロディーの音は最高音が二点ニ音で少し高めではあるが、最低音は一点へ音で、その中の6つの音だけで成っている。リズムは同じパターンの繰り返しであるが、13～15小節の8分音符と8分休符の切羽詰まったような伴奏には、イエスの誕生への期待感が表れている。

#### IV. 考察と指導への提言

ここでは前節の楽曲分析で明らかになったことをもとに、それを指導にどのように生かすことができるのか、曲ごとに筆者なりの考えを述べる。

まず「だれがつくったの」は、天地創造をテーマとしていることを説明する必要があると考える。創造論を知る機会の少ない日本において、歌詞の意味がわからない子どもも多数いると言える。1小節目の「だれがつくったの」の問いに対しての答えが、最後の「てんのかみさまよ」となっており、特に大切に歌唱したい。また、それぞれの生き物のイメージを膨らませることのできる擬音語にも注目したい。調号が一つもないへ長調で非常に単純な伴奏形で構成されており、ピアノに初めて取り組んだ学生でも弾けるようになるものであるが、1小節目と4小節目の「つくったの」という部分は、右手のリズムと左手のリズムが複雑にずれるため注意が必要である。前奏と後奏がついていないため、歌唱する際は後半の4小節もしくは最後の2小節を、前奏として演奏することが望ましい。コードネームを利用して伴奏をアレンジしたりギターで演奏することも可能であるが、コードネームの理解とアレンジのバリエーションの習得は短期間では難しいかもしれない。

続いて「おほしがひかる」については、イエスが誕生しためでたい夜への期待と喜びを歌と伴奏で表したい。4拍子より少し難易度のある3拍子であり、伴奏の音も多いが、音楽Iで習得した成果を十分に活かすことができる。〔おはなしするように〕の記載と四分音符1つ=112というテンポの目安も指定されており、遅すぎず速すぎず歌詞を大切に歌唱することが望ましい。クレッシェンドとデクレッシェンドがメロディーと伴奏共に細かく記載されているが、強弱記号はメゾ・ピアノのみであり、夜の静けさや心の内から溢れる喜びが読み取れる。スタッ

カートは、星がびかびか光る様とらくだがかぼかぼ歩く様子や、喜びを表すために活かすと良い。

## V. おわりに

子ども讃美歌集数冊の中の曲を表に整理した結果、音楽の観点からいくつかの傾向を指摘することが出来るように思われる。すなわち調については、調号がないものから3つまでの長調と短調があり、例えば、筆者が最近研究調査を行った瀧廉太郎の『幼稚園唱歌』と比較すると、瀧が調号がないものから2つまでの長調で作曲していたのに対して、これらにおいては調の種類も増えており、それにより音楽の彩りの幅も増え、表現の仕方にも変化をつけることができる。拍子についても4拍子系だけでなく3拍子系も見られ、これらは、幼児のみではなく子ども（主に小学生まで）向けであり、伴奏の対象が幼児教育者に限定されていないこと故と言えるだろう。また、歌詞の観点からは、大人にとっても難しくとも大切な聖書の中の言葉やストーリーが、易しい言葉や理解しやすい表現で音楽に合わせられており、子ども讃美歌の重要性が感じられる。

更に、キリスト教精神を建学の精神としている本学の科目の中の必修課題曲として、「だれがつくったの」と、「おほしがひかる」の2曲が指定されていることは非常に意義があると言える。クリスチャンであってもそうでなくとも、これらの讃美歌を通して子ども達に讃美する喜びや聖書のストーリー等を伝えると共に、讃美が神様から私達に与えられたものであることへの感謝を持って、子ども達や学生達と共に喜んで神様を讃美し続けたい。

### 【注】

- |      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| (注1) | 『聖書 新共同訳』日本聖書協会、1999年、新約聖書p.371～372 |
| (注2) | ” 旧約聖書p. 2                          |
| (注3) | ” 旧約聖書p. 1                          |
| (注4) | ” 旧約聖書p. 1                          |
| (注5) | ” 旧約聖書p. 2                          |
| (注6) | ” 新約聖書p. 2                          |

### 【参考文献】

- 1 仲松あかり「瀧廉太郎の『幼稚園唱歌』－歌詞と音楽からの考察－」沖縄キリスト教短期大学紀要第46号、2017年。
- 2 岩井正浩著『増補 子どもの歌の文化史』第一書房、2003年。
- 3 安田寛著『唱歌と十字架 明治音楽事始め』音楽之友社、1998年。
- 4 『聖書 新共同訳』日本聖書協会、1999年。
- 5 『幼児さんびか（普及版）』キリスト教保育連盟、1983年。
- 6 『グローイング ソング ふくいんこどもさんびか2』日本CEF、1998年。
- 7 『聖書オペレッタ集』CS成長センター、1993年。
- 8 『こどもさんびか1』日本基督教団出版局、1985年。
- 9 品川三郎著『児童発声』音楽之友社、1980年。
- 10 北村宗次著『教会生活の手引き 7 教会の音楽』日本基督教団出版局、1979年。
- 11 『ふくいん子どもさんびか』日本児童福音伝道協会、1980年。



- 12 『こどもさんびか 改訂版』日本キリスト教団出版局、2002年。
- 13 『こどもさんびか』日本基督教団出版局、1993年。
- 14 『こどもさんびか2』日本基督教団出版局、1994年。
- 15 大村昌夫著『日曜学校教師と共に』現代の光会、1970年。
- 16 『すぐに役立つクリスチャン生活百科』いのちのことば社、1997年。

【資料1】沖縄キリスト教短期大学保育科シラバス 音楽Ⅰ

【資料2】沖縄キリスト教短期大学保育科シラバス 音楽Ⅱ

【楽譜1】グローイング ソング ふくいんこどもさんびか2より「だれがつくったの」、日本  
CEF、p. 7

【楽譜2】こどもさんびか1より「おほしが ひかる」、日本基督教団出版局、p.22

